

○葉鐵の需要擴大

葉鐵の内池消費は嘗て石油罐製造に限られたる如く考へられて居たが、最近需要方面は益擴大してあらゆる商品に使用されて居る、中にも玩具、茶罐箱、罐詰、木箱の金具、或は燐寸、反物の濕氣を厭ふ商品の裏張等に消費されて居る、夫れに從來の石油は主に罐入となつて輸入されて居たから内地需要も此の古罐で過半を充して居たが近年は石油も殆どタンク船にて輸入され罐は内地で製造すると云ふ状態に變つたので兩者相俟つて葉鐵の輸入は年々増加の趨勢を辿つて居る、嘗て葉鐵の本場なる英國が開戦と同時に輸出禁止をやつたので本邦では米國物を代理輸入した、併し大體が品質の點に於て相違があるのと、英國品には永い馴染があるので當時尙ほ各地市場のストックを漁ると云ふ有様、一方米國品はカーネギートラストの賣止に遭遇した以來、新興の會社製品も海外註文やら自國引受の軍用罐詰向の註文で引張り風となつたので本邦への出廻りも減退した、従つて市價著しく暴騰し、罐詰材料に紙製容器を代用するの苦境に陥つた、殊に此の間の市價變動に乗じて巨利を獲た者が多かつたので之に刺戟され自ら本品取扱商人が増加して思惑が旺に行はれた、それで九年の財界動搖には整理物が現はれて市價半減するの不況を見たが本邦ではまだ一枚の葉鐵も製造は出來ないので數量上では却て増加した、十年には渴望してゐる英國品が漸く出廻り、而も大變に割安なので旺んに買ひ付けた、従つて本品だけは時局の如何を問はず入増の一途を辿つてゐる、之を貿易表に見れば次の如くである。

千圓

千圓

六二八

	大正五年	六年	四年、七四六	一〇、〇八四
同	七年	八年	四八、九〇六	二〇、八五一
同	九年	八年	八二、三三一	一七、五一五
同	十年	七年	七一、八七九	二〇、三九一
同	十一	六年	一三、七一四	一一、七二六

而して本年に入るや益買進み五月末までに五千九百十七萬七千斤の輸入あり、昨年同期より七割の激増となつて居る、大體輸入品には罐詰用としては百七十封度もの燐寸の包装茶罐用には百八封度ものが輸入されて居たが、之は割高なので最近は長さ二十吋巾十四吋一箱百十二枚入正味が八十五封度から百十二封度のものが歓迎される稀に極薄物は同じ目方でも二百二十四枚も入つて居るものがある、最近の値段は斤當り英國物で十五六錢、米國物で十三四錢となつて居るが兩國品共協定稅の恩恵に浴し毎百斤七十錢の關稅であるのみならずその輸入原料で製造した玩具、罐箱、飲食物、罐詰等の輸出された場合は戻り稅の特典があるので本品の入増には根強い力が潜在してゐる。

○正誤（第八年第七號）

頁	三〇	段	行	位置	誤
六七	同	下	一六	又ノ下	デビ・
	上	同	一三	共にノ下	ロード
	◎ノ下			脱字	
入	ラウエイ	テバ	正		